

# 障害福祉分野における循環的支援に関するモデル構築研究

相川 章子

## はじめに

近年、障害者福祉分野において新たなポジションとしてサービスの受け手（通常、利用者、コンシューマーなどと呼ばれている）である方々が、サービスの送り手として福祉施設等で働いている人が急増している。これらを A.トフラーの造語「プロシューマー」が応用されて使用されるようになってきている。本研究では、障害者福祉分野における「プロシューマー」に焦点を当て、障害福祉分野における循環的支援のモデル構築を目的とする。

そこで本報告では、プロシューマー研究の意義や必要性について整理するとともに、仮説生成プロセスについて整理した。

## 先行研究の要点

プロシューマーに関する研究の源流をたどると、セルフヘルプやピアサポートあるいはオルタナティブなどが重要なキーワードとなっている。それらの論点として「当事者の主体性」「専門的援助と非専門的援助」が挙げられ、援助特性として「ヘルパーセラピー原則」(Riessman)、「経験的知識」(Borkman)が挙げられる点において共通している。「ヘルパーセラピー原則」と「経験的知識」は回復への有効性の根拠として用いられている。

「ヘルパーセラピー原則」は人としての本能的原理を説いており、支援を受ける人、支援を提供する人、といった二分されるものではなく、誰もが支援の受け手であって送り手でもあり、その互恵性のなかにあるという当たり前の営みについて、もっぱらサービスの受け手に徹していた、もしくは追いやられ続けきたコンシューマーにその機会を再設定したのが、セルフヘルプグループやピアサポートであるともいえる。その再設定された集団は、より強固なつながりが育まれ、またダイナミクスが生まれ、そのつなぎ役となった材料が「経験的知識」である。病や障害のある人々は、一人一人異なった体験を持ちながらも、彼らの集団のなかでは強固な情緒的つながりを持つ。これまで自らの存在価値に限界もしくは負の価値を与えてきた体験が「経験的知識」として自らの存在価値を高める「付加価値」となって価値転換を自らの中でおこす。これらの内的プロセスを活用して生み出されたサービスがプロシューマーサービスであると言える。

プロシューマーの有効性について、David P.Moxley と Carol T. Mowbray(1997) は、コンシューマーの役割を導入することによって、精神保健システムに多くの発展をもたらし、さらには社会改革にもつながると結論付けている。P.W.Corrigan (2006) は「リカバリーの向上」「エンパワメントの向上」を挙げ、Solomon.P (2004) はサービスを利用するコンシューマーへの個別的な効果、プロシューマー自身への効果、そして精神保健福祉サービスシステムへの効果の3つに分類している。

一方、プロシューマーがかかえている課題については、Solomon.P (2004) は、①サービスの要素、②プロシューマーの特性、③精神保健サービス提供システムの特性の3つの側面に大別している。プロシューマーでもある加藤は、プロシューマーとしての存在意義についてのあいまいさと難しさ、立ち位置の

危うさについて指摘している。

### 生成されたリサーチクエスチョン

先行研究によって生成されたリサーチクエスチョンは、①プロシューマーの有効性と課題について、②サービスの構造変化、③精神保健福祉士など専門職との役割比較の3点である。

### プレ調査から得られた仮説

プロシューマー導入によって、提供者自身のセルフエスティームの向上、利用者にとっては選択できるメニューが増えるとともに、利用者の視点を導入したサービスシステムとしてサービスの質の向上および保証につながるという有効性である。その一方、ポジション（立場）のあいまいさからくる葛藤、役割期待の重圧や役割葛藤を抱えるという課題が挙げられる。

### まとめ

本研究の一義的な目的である、コンシューマーからプロシューマーへと変化していくプロセスに着目し、それらの内的・外的変化について明らかにすることによって、既存のサービスシステムにおける役割および存在意義を明確化する。またプロシューマーの立場性の危うさからくる課題こそが固有性であり、かつ存在意義があることを検証する。そして、プロシューマーの導入によって現在の「線形的支援」から「循環的支援」へと転換する支援の在り方のパラダイム転換の可能性をも有していると考えている。

### 参考文献

- Riessman, Frank ; The "helper" therapy principle, Social work, Vol10(2) ,1965, pp27-32
- Borkman, T. ; Experiential Knowledge, A New Concept for the Analysis of Self-Help Groups. Social Service Review, (Sept), 1976, pp445-456
- David P. Moxley & Carol T. Mowbray ; Consumers as Providers: Forces and Factors Legitimizing Role Innovation in Psychiatric Rehabilitation, Consumers as Providers in Psychiatric Rehabilitation (edited by Carol T. Mowbray, David P. Moxley, Colleen A. Jasper, Lisa L. Howell) Section 1 - Chapter 1, International Association of Psychiatric Rehabilitation Services, p8, 1997
- Patrick W. Corrigan; Impact of Consumer-Operated Services on Empowerment and Recovery of People With Psychiatric Disabilities, Psychiatric services, Vol.57 No.10, October 2006, pp1493-1496
- Solomon, Phyllis ; Peer Support/Peer provided services underlying process, Benefits, and critical ingredients, Psychiatric Rehabilitation Journal; Vol.27 issues 4, spring 2004, p392-401
- 加藤真規子 ; 当事者出身のソーシャルワーカーの可能性と課題, 桃山学院大学社会学論集, Vol25 No.1, 2001, pp125-151

(大学院人間学研究科福祉・臨床心理学専攻研究生)